



ほごしゃ
保護者のみなさんへ

2020年11月発行

いくみん教育だより

第28号



いくのくちょう やまぐちてるみ
生野区長 山口照美

いくのくたんとうきょういくじょう
(生野区担当教育次長)

ふたたび、新型コロナウイルスの感染が広がってきました。インフルエンザもそうですが「気温が1℃下がると3%感染者が増える」というデータがあります。寒さに負けず、換気や手洗いがんばりましょう!

「ストレスの風船」のガスを抜こう～児童虐待防止月間によせて～

11月は「児童虐待防止月間」です。「児童虐待」は、わかりやすく言うと、子どもの「安全で安心して生活し、心と体が健康に育てられる権利」が奪われている状態です。保護者による、しつけのための体罰は、児童福祉法の改正(2020年4月より施行)で禁止されました。子どもは、大人と同様に一人の人間として尊重される存在です。安心してのびのびと育つことができるよう、サポートをお願いいたします。……そうは言いながら、私自身も2人の親としていつも笑顔で理想の子育てができているわけではありません。

全国で起きる児童虐待の原因を追っていくと、いい親でありたいと思っていた人が、どんどん追い込まれ、積み重なり、SOSを出せないまま起ってしまった事案が多く見られます。経済的に苦しくて仕事に追わされて余裕がない。体調が悪くて朝起きられない。周りに育児をサポートしてくれる人もいない……去年の通信でも書きましたが、心を風船にたとえると、悩みでパンパンになった「ストレスの風船」がちょっとしたきっかけで割れて、暴力や暴言が出てしまう。そうなる前に、日常的に悩みを吐き出す方法を身につけてほしいと願っています。

まずは「しんどい」と言える相手を大人もこどもも持つこと。そのためには、お互いに「いつでも聞くよ～」という空気を作ることが大事です。行政としても相談窓口やサポートを充実させて、子育てを応援していきます。

《親子で読書のすすめ》

『あつかったらぬげばいい』

ヨシタケシンスケ(白泉社)

イライラしたり、悩みがあったりするときに「ゆるく考えればいい」と教えてくれる絵本です。

「あつかったら脱げばいい」から始まり、「へやがちらかってたら/とりあえずむきだけそろえればいい」「あんまりおいしくなかったら/おくちなおしをさがすたびに でればいい」と、たくさんの「~だったら○○すればいい」の意外な選択肢が出てきて大人も共感できます。イラストもくすっと笑えて、あとでよく読めるので、気分が落ち込む時にオススメです!



いじめ・子育て・経済的な悩み・心の悩み……

いろんな相談窓口を使おう!

悩みやうまく言えない気持ちを誰かに聞いてもらうこと、楽になることがあります。悩みの原因がわかっている時は、具体的な相談窓口もあります。自分に合った相談先をさがしてみてください!



◆大阪市の相談窓口一覧⇒



◆こども向け相談窓口一覧⇒
NHKのサイトです。